奄美群島振興交付金事業計画（R1～R2）の実績に関する評価（総括）

1　成果目標の達成状況

評価対象事業数	成果目標設定数	達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	【参考】達成＋おおむね達成
93	138（100%）	13（9%）	14（10%）	15（11%）	96（70%）	27（20%）

※「達成」…達成度100%以上，「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満，「未達成」…達成度70%未満

2　評価結果

【達成度の判定】 ○（達成）：100%以上，△（おおむね達成）：70%以上100%未満，×（未達成）：70%未満

番号	事業名							
1	奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量（花き除く） ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量（花き） ③奄美地域における製造品出荷額				
			区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	55,436 t	55,481 t	t		―
			値（②）	56,156 千本	56,156 千本	千本		―
			値（③）	20,312 百万円	21,531 百万円	百万円		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】農林水産物等の輸送コストの支援により，共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し，出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが，コロナ禍の影響も有り出荷量が減少した。 ※加工品のアウトカム指標の実績（令和元年度）については集計中。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		令和元年度からこれまでの農林水産物の輸送支援に加え，加工品の輸送と移出する農林水産物の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされた。 今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され，生産基盤の強化が図られるよう，市町村等との連携を強化する。				
	市町村							
番号	事業名							
2	奄美群島航空運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数				
			区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	611 千人	677 千人	千人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルスの影響により，対象路線における利用者数は対前年度で大きく減少（60.7%）したが，引き続き，奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き，地元市町村や事業者と連携し，本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
番号	事業名							
3	奄美群島航路運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数（離島割引の利用者数）				
			区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	136 千人	136 千人	千人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】奄美群島住民等の負担軽減が図られているが，コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き，地元市町村や事業者と連携し，本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
4	奄美群島交流需要喚起対策特別事業	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値（①航空）	381 千人	422 千人	千人		―	
		値（②航路）	145 千人	148 千人	千人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】新型コロナウイルスの影響により，対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少（航空：51%，航路50%）したが，通年で225千人の交流が図られた。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き，地元市町村や事業者と連携し，本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。					
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
5	奄美・沖縄連携交流促進事業	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値（①航空）	54 千人	60 千人	千人		―	
		値（②航路）	75 千人	76 千人	千人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】新型コロナウイルスの影響により，対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少（航空：49%，航路35%）したが，計58千人の両地域の交流が図られた。					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き，沖縄県や奄美群島市町村，事業者と連携し，本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
6	農業創出緊急支援推進事業	アウトカム指標	①葉にんにくの生産性向上（単収増加） ②島らっきょうの生産性向上（単収増加） ③奄美プラム（カラリ）の生産性向上（大玉系統の栽培面積拡大）					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値（①）	710 kg/10a	810 kg/10a	kg/10a		―	
		値（②）	700 kg/10a	700 kg/10a	kg/10a		―	
		値（③）	25 ha	27 ha	ha		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖，島らっきょうの優良系統の選抜を行った。アウトカムの実績となる数値なし。 奄美プラムは，台木に穂木を次いで363本植え付けた（2.0ha：18本／10aで積算）。					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	葉にんにくについては，R3年度にウイルスフリー化した種球を現地供給。島らっきょうについては，R3年度に系統選抜した種球をウイルスフリー化，R4年度に圃場にて増殖を行い，R5年度に現地供給。奄美プラムについては，R4年度まで各種試験・調査を行い，R5年度にマニュアルを生産者等に配布。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
7	海洋世界遺産ロード構築事業（世界遺産「奄美・沖縄－屋久島」を結ぶ航路支援事業）	アウトカム指標	屋久島寄港便の利用人数					
		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	600 人	1,200 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】支援の実施により，寄港回数の増加につながっていたが，コロナの影響により，一部期間（令和2年4月17日～5月31日）が運行休止となり，対前年度で実績が減少している。					
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針	R2年度末終了。					
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
8	奄美パーク展示等リニューアル事業	アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 4 年度	令和 年度			
		値	775 千人	810 千人	千人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】現在，奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
	R 1 ～ R 4							
	事業主体	今後の取組方針	今年，奄美大島が世界自然遺産に登録され，情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから，引き続き着実に事業の推進を図る。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
9	ハブ対策事業（ハブ駆除対策事業）	アウトカム指標	ハブ咬傷者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	H19～H28の平均	令和 元 年度	令和 2 年度			
		値	55.7 人	55 人以下	29 人	達成	○	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 咬傷者数は29人で，目標を達成した。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	ハブ咬傷者数55人以下を目標として，引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに，ハブ個体群変動調査等を行い，ハブとの棲み分けの検討を進める。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
10	ハブ対策事業（ハブ咬症対策事業）	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 26 年度	令和 元 年度	令和 2 年度			
		値	1 人	0 人	0 人	達成	○	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし，咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
11	世界自然遺産「奄美」保全・活用事業	アウトカム指標	①世界自然遺産登録数 ②奄美群島認定エコツアーガイド数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値（①）	0 か所	1 か所	1 人	100.0%	○	
		値（②）	85 人	115 人	133 人	115.7%	○	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 世界自然遺産としての価値の維持，自然環境の保全と利用の両立，気運の醸成のための検討・取組として，金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルの全線開通イベント（R3年1月全線開通），世界自然遺産登録の気運醸成を図るため県庁前にPR看板設置，奄美空港にPR広告掲示等を実施し，世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き，奄美の世界自然遺産登録の実現及びその後の適切な保全・管理に向けて，自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など，必要な取組を推進する。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
12	奄美自然観察の森整備事業	アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度			
		値	15,686 人	17,000 人	19,041 人	112.0%	○	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 森の館（管理・展示施設）に係る敷地造成・建築・電気・機械設備・外構工事，アコウ観察路の新設，ドラゴントリデ（展望台）・四阿の補修，水景施設（池，流れ工）工事，園路工事等を実施した。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き，令和3年度の完成を目指してリニューアル工事を実施する。					
	龍郷町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
13	水産資源利用開発調査	アウトカム指標	海面漁業の生産額					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	10,170 百万円	10,329 百万円	百万円		―	
	事業実施年度	評価	【R元年度】 海面漁業の生産額1,202百万円＋クロマグロ養殖生産量6,433百万（固定）であり，カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。 【R2年度】 ※ 統計数値が示されていないため未掲載					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成，漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え，未・低利用資源の加工品開発を継続し，奄美群島全体の水産業振興に寄与する。					
	鹿児島県							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
14	農業創出緊急支援事業	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 28 年度	令和 2 年度	令和 年度			
		値	36,942 百万円	39,052 百万円	百万円		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。					
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
15	奄美群島流通効率化事業	アウトカム指標	与論町の生産牛飼育頭数の増加					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	5,422 頭	5,450 頭	頭		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】令和2年度の飼養頭数は5,669頭であり、令和5年度の目標を上回る実績となった。					
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針	畜産農家数が減少傾向にあり、それに伴う飼養頭数の減少が懸念されるが、貨物船による安定した飼料供給を続け、飼養頭数の維持拡大を図る。					
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
16	ICT先進技術習得事業	アウトカム指標	①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値（①）	0 人	180 人	195 人	108.3%	○	
		値（②）	0 人	6 人	5 人	83.3%	△	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響のなか、島外への渡航や各企業の活動が抑制され、特に島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し，②については，目標値に達することができてない。					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	情報通信に携わる者に対して、ICTに関連した先進的な技術やサービスの活用方法を自発的に習得するための支援を行い、既存企業の雇用人数増加やフリーランスの事業主化の支援を推進する。					
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
17	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業	アウトカム指標	生産年齢人口の中でも若年層（20～44歳）の人口					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	23,626 人	21,438 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 国勢調査による年齢別人口が未公表のため未記載					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ収束等を見据えた取組を検討していく。					
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
18	奄美群島チャレンジ人材育成事業	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	0 件	15 件	11 件	73.3%	△	
	事業実施年度	評価	【R2年度】民間チャレンジ： 募集件数33件　採択件数11件 起業家人材育成： 新規受講生10名　奄美群島でシゴトを創るゼミを開催 スタートアップ支援事業： クラウドファンディングサイト「FAAVO奄美群島」を開設					
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。					
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
19	人材育成成果発表会	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	0 件	15 件	11 件	73.3%	△	
	事業実施年度	評価	【R2年度】伊仙町において人材育成成果発表会を開催した。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、4社が出店。約80人が参加。					
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が，自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。併せて，広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。					
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内，観光客数				
20	奄美群島観光物産広域連携事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により旅行客が大きく減少している。 減少した客数の回復のためにも、来訪の推進が必要。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち，移住した者の数				
21	UIOターン支援体制構築事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	0 人	25 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和元年度の実績の半分しか満たしておらず、令和3年度の中間目標を達成させるための対応を検討しなければならない。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアなどへの参加やネットワークを利用したオンライン相談会など、社会情勢も考慮した方法で奄美群島の定住促進のために力を入れていきたい。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
22	奄美群島エコツーリズム推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	85 人	115 人	133 人	115.7%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度現在の奄美群島認定エコツアーガイド数は133人であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		世界自然遺産へ登録され，今後もエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保，及び地域連携体制の強化を図るとともに，自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し，人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
23	奄美群島地域通訳案内士育成事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	107 人	153 人	129 人	84.3%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した．【受講者数】40名（英語28名、中国語12名）				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		今後も世界自然遺産登録を見据え，外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
24	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業（GTFS整備）		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】群島内の公共交通機関(バス)へ作成したデータを提供済み。令和3年度10月現在、Googleマップにて「島バス(奄美大島)」の情報が確認出来る。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		Google等経路検索サービス提供者との契約は各公共交通機関がそれぞれ行う必要があるため、本事業は作成したデータの提供をもって終了。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内，観光客数				
25	奄美群島プロモーション動画制作事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプモーション動画を制作するため，有識者と共に各島の景勝地等を視察し，12市町村，地元有識者と協議の上，撮影候補地を選定した。				
	R 2 ～ R 4							
	事業主体	今後の取組方針		動画広告を配信することで得られる視聴者の属性（年代、性別、国）、興味等を把握・分析。分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで認知度向上につなげる。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
26	戦略的情報発信支援事業	アウトカム指標	①広告の注目度（ユーザーが広告を閲覧した回数） ②広告の誘導生（サイトの目的達成回数） ③事業者の情報発信力の向上（アンケート調査による事業者の情報発信力向上率）					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値（①）	0 回	100,000 回	回		―	
		値（②）	0 回	1,000 回	回		―	
		値（③）	0 %	70 %	%		―	
	事業実施年度 R 2 ～ R 4	評価	【R2年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し8記事を掲載した。全記事の総PV数は293,892回となった。スキルアップ研修については、群島各島において実施（民間事業者32名参加）					
	事業主体 奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図る。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
27	観光拠点連携整備事業	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年（暦年）	平成 29 年	令和 2 年	令和 2 年			
		値	825,791 人	887,895 人	517,192 人	58.2%	×	
	事業実施年度 R 1 ～ R 5	評価	【R2年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。					
	事業主体 市町村	今後の取組方針	コロナ禍の影響により入込客数が減少したが、アウターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
28	奄美海洋展示館リニューアル事業	アウトカム指標	利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足度					
		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	50.0 %	70.0 %	%		―	
	事業実施年度 R 2 ～ R 3	評価	【R2年度】 R3年度へ繰越し					
	事業主体 奄美市	今後の取組方針	展示室のリニューアルを完成させ、施設の更なる魅力度向上や利用者の満足度向上を図る。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
29	あやまる岬エリア整備事業	アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	116,217 人	118,000 人	56,370 人	47.8%	×	
	事業実施年度 R 1 ～ R 3	評価	【R2年度】 令和元年度実績において、令和2年度目標を達成していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度の実績は減少					
	事業主体 奄美市	今後の取組方針	令和4年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
30	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度			
		値	11,000 人	15,000 人	10,484 人	69.9%	×	
	事業実施年度 R 1 ～ R 5	評価	【R2年度】有識者会議を開催し、「大和村アマミノクロウサギ研究飼育施設（仮称）設置運営に係る基本計画」を策定した。それに基づき、ボーリング調査及び建築実施設計をR3年度にかけて実施中。					
	事業主体 大和村	今後の取組方針	基本計画に基づき、建築実施設計を進めていく。併せて、展示設計については1回目のプロポで業者選定されなかったため、2回目を実施し業者を選定する。両者の設計については、適宜有識者からの意見聴取及び関連法令についても所管機関に確認し進めていく。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
31	奄美フォレストポリス再整備事業	アウトカム指標	奄美フォレストポリスへの入込客数					
		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 28 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	18,629 人	25,000 人	12,598 人	50.4%	×	
	事業実施年度 R 1 ～ R 5	評価	【R2年度】新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減により来園者，宿泊者が落ち込んだ。また世界遺産登録も延期となったが，村によるマイクロツーリズムの推進したことにより，宿泊者数は増加へ転じることもあり，アフターコロナを見据え，より一層推進を図る予定としている。					
	事業主体 大和村	今後の取組方針	引き続き世界自然遺産登録も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。					

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数				
32	湯湾岳周辺整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	5,605 人	6,000 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。				
	宇検村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	「環境文化への学び舎」				
33	秋名地区「環境文化の学び舎」整備事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 年度		
			値	0 人	6,000 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響で大学との連携事業が実施できなかったが、数度の住民意見交換会を踏まえ、基本実施設計を実施した。				
	R 2 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度に本体工事着工・完了、供用を開始。奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、奄美群島国立公園の特徴のひとつである「環境文化」を表現し発信する施設として観光振興に取り組む。				
	龍郷町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
34	大和城観光地連携整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度実績を大きく下回ったが、アフターコロナを見据え、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。				
	天城町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
35	瀬田海海浜公園休憩施設整備事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	825,791 人	887,895 人	514,862 人	58.0%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】 コロナ禍であったが58%の達成状況であった。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。				
	伊仙町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
36	湯湾地区観光総合案内所整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	0 人	2,000 人	0 人	0.0%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】 建設予定地変更等により事業計画を再検討したことから、事業繰越となったため、目標を達成することができなかった。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度については、施設整備を完了させ、来訪者増へとつなげたい。				
	宇検村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
37	天城岳登山道周辺整備事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が大幅に減少した。 用地交渉に不測の日数を要したため、全額を翌年度へ繰越。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。環境省が整備する登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。				
	天城町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度				
38	観光拠点施設機能強化事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	64 %	66 %	%		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】事業計画の再検討により繰越事業となったため、実績値減に影響したと推測される。				
	R 2 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度については、和式のままとなっている村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。				
	宇検村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
39	観光看板設置事業	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	142,734 人	130,000 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】コロナ禍により入込客数に影響がでたものの中間目標に対して61%の達成率であった。					
	R 2 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。					
	伊仙町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
40	内海公園自由広場整備事業	アウトカム指標	整備を行う内海公園自由広場の他、隣接する三太郎の里、農林産物加工センター、木工センターの利用者数を含めた、内海周辺エリア全体の施設利用者数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	11,304 人	13,000 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】内海公園自由広場遊具設置工事完了に伴い，パーゴラ，ベンチ，転落防止柵等の整備を行ったことで，より安全かつ利用満足度の高い施設となった。					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	R2年度7月完成。今後は、当該地区の観光拠点としての活用を推進していく。					
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
41	マングローブパーク駐車場整備事業	アウトカム指標	マングローブパークの利用者数（カヌー ＋ 資料館）					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	39,358 人	45,000 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】普通車80台，大型車6台，身障者用4台分の駐車スペースを増設し，従来の約2倍の駐車が可能となったことで，キャパシティ不足の問題が解決した。しかしながら，コロナウイルス感染症にかかる観光客の減少や，施設閉館等の影響で利用者は大きく減少した。					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	R3年3月に完成。今後の島内唯一の道の駅として観光・教育・サービスエリアとしての機能増進につなげていく。					
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
42	国直うみがめ公園整備事業	アウトカム指標	体験事業による年間受入人数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	400 人	1,200 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】舗装・植栽・照明灯・小規模遊具の設置を行ったが複合遊具等は未設置であり，次年度継続して整備推進を図る。					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」を継続的に整備することにより，乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境をつくることで、家族連れの観光客等への誘客促進を図っていく。					
	大和村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
43	湯湾岳展望台整備事業	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数					
		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	5,605 人	6,000 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。					
	宇検村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
44	加計呂麻芝集落海水浴場トイレ・シャワー施設整備事業	アウトカム指標	加計呂麻島を訪れる観光客数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	47,971 人	57,132 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】新型コロナウィルス感染拡大防止等の影響で、昨年度比83.1%の38,832人となった。					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	施設整備を行ったことで芝集落海水浴場の利便性が良くなっており、観光協会等を通じて積極的な情報発信を行うことで、観光客受入増加を目指す。					
	瀬戸内町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
45	なごみの岬公園休憩施設整備事業	アウトカム指標	団体利用者数の申請件数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	0 件	35 件	件		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 設計監理委託 期間：R2.4.28～R2,12.15 休憩施設整備工事 期間：R2.7.17～R2,12.15					
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針	休憩施設が整備されたことにより、施設利用者が増えることが予想される。今後は施設の周辺整備を検討していく。					
	徳之島町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度				
46	観光拠点連携情報発信事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	60 %	66 %	62.2 %	94.2%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】前年度と比較し全体満足度含む8項目で満足度がやや向上しておりコロナ禍においてもホスピタリティの水準を落とすことなくサービスの提供を行えた。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		満足度調査の項目（宿泊・食事・お土産・交通・観光施設・自然景観・ホスピタリティ）ごとに、分析、合同専門委員会をとおして情報の共有を図り改善に取り組む。				
	あまみ大島観光物産連盟							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度（大変満足のシェア） ②島の健康資源を生かした旅行商品造成数				
47	奄美らしい観光スタイル構築事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度（①）	平成 27 年度	令和 元 年度	令和 元 年度		
			値（①）	60 %	66 %	62.2 %	94.2%	△
			年度（②）	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（②）	0 件	2 件	0 件	0.0%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】 島の健康資源を活かした旅行商品造成事業として，奄美大島の健康資源の調査，健康体験プログラムの作成，セラピスト養成講座及び販促ツール（パンフレット）制作を実施した。しかし新型コロナウイルスの影響により施設の閉鎖，島内限定利用期間などもあり，旅行商品を造成し販売するに至らなかった。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		令和元年度末からコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録にも注視しながら、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。				
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①体験事業による受入人数 ②奄美らしい観光プログラム数				
48	大和村集落まるごと体験事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	1,888 人	2,500 人	人		―
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（②）	70 件	85 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 コロナ渦という非常に観光事業者にとっては非常に厳しい社会環境であったが，島内需要喚起を活発に行った結果，目標値を達成することが出来たとともに島内在住者のリピーターの確保という側面も生まれ，アフターコロナでの更なる交流人口の増加が期待される。 また，ウミガメ公園整備を行うための測量・設計業務及び土地の造成工事等を行い，令和3年度完成に向けて整備を推進し，完成後には観光滞留時間の向上が期待される。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		島内リピーター獲得により，島内在住者に対しても「大和村観光」が十分にPR出来たものと考えており，この良好な流れをコロナ収束後の島外観光客の確保に努めることを目的に更なる観光外貨獲得に向けて体験メニューのブラッシュアップ及び宿泊事業者の量的・質的確保を図る。				
	大和村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①瀬戸内町への年間入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
49	瀬戸内町旅行商品造成事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（①）	131,376 人	140,000 人	93,660 人	66.9%	×
			値（②）	0 人	600 人	295 人	49.2%	×
			値（③）	0 件	2 件	2 件	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】 ①②についてはコロナの影響で目標を大きく下回ったが、③についてはアクティビティ関連のメニューを目標数開発できた。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		計画通りR3年度まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。				
	瀬戸内町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	秋名幾里地区における体験プログラムの延べ参加者数				
50	環境文化型体験・交流事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	0 人	200 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】アクティビティ実践モニターツアーのほか、飲食メニューの開発等を複数回開催。新型コロナウイルス感染症の影響で施設オープンが遅れ、事業に大きな影響が出た。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		民泊窓口の機能強化と民泊事業の横展開（新規参入家屋の改修と民泊事業者の人材育成）を図り、近隣施設等との連携強化も推し進める。また、インターンシップの受入など関係人口の創出を図る。				
	龍郷町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①喜界島への年間入込客数 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
51	喜界町旅行商品造成事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	53,306 人	65,000 人	人		―
			値（②）	30 人	200 人	人		―
			値（③）	19 件	22 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナの影響で入込客数が減少しているが、好評で増刷も行った。さらなる入込客の増加を図りたい。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		令和2年度はコロナの影響により、入込客数は減少しているが、販売は好評であった。今回は来島目的がビジネスが大半を占めている現状がわかったのでアクティビティの種類を増やすことや内容の充実化が必要だと感じる。				
	喜界町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数数 ③星空等ツアープログラム数				
52	ヨロン戦略的交流促進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	72,000 人	80,000 人	人		―
			値（②）	9,000 人	10,000 人	人		―
			値（③）	0 件	5 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		関係自治体とも連携しながら沖縄島北部地域と連携した広域観光ルートの構築を図りつつ、奄美大島や徳之島地域からの島づたいの誘客を図るため、当該地域にも地域商品券の設置やPRを行っていく。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数数 ③星空等ツアープログラム数				
53	ヨロン島地域資源活用事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	72,000 人	80,000 人	人		―
			値（②）	9,000 人	10,000 人	人		―
			値（③）	0 件	5 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルスの影響によりイベント開催や誘客を図ることができなかった。一方でコロナ収束後を見据えたガイド育成、より美しい星空を見るため防犯灯の改良などの光害対策や住民の意識高揚を図るための観望会などを開催した。				
	R 2 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		ツアーを実施する星空ガイドの育成やツアー造成を図るとともに、観光協会に総合窓口を整備する。また、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、小規模な星空イベントや各種媒体を活用した情報発信、ファムトリップやモニターツーアーの実施により誘客を図る。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数数 ③星空等ツアープログラム数				
54	ヨロン島来訪機会創出事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	72,000 人	80,000 人	人		―
			値（②）	9,000 人	10,000 人	人		―
			値（③）	0 件	5 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 Yoron 8Kを踏まえた上でよりプロモーション力が高く、体験が想起できる動画を制作、YouTube配信・広告などのデジタルマーケティングを実施。また、日本国際観光映像祭と連携し、冬の与論島を舞台とした観光動画4本の制作や、観光事業者による与論島情報発信力を高めるための撮影セミナーを実施。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		YouTube配信による視聴回数が4本で1,800万回再生超や制作した動画の海外での映像祭受賞など、デジタルマーケティング等による効果があったが、新型コロナウイルスの影響により来訪客数が大幅減となったため、実際の来島に繋がったかどうかが不透明となった。令和3年度まで新型コロナウイルスの影響は続くため、引き続き感染症の各大状況を注視しながら進めていきたい。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	プログラムコースメニュー開発数				
55	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	0 件	5 件	件		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 関係事業者との連携体制を構築しつつ、人材育成講習等を実施した。また、地元食材を活用したウェルネス対応食事メニューの開発を行った。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		ウェルネスプログラム実施のための人材育成を行うとともに、「頑張る女性」をメインターゲットとした各客層を対象にモニターツアーを行い、ウェルネス体験メニューを磨き上げ商品を造成する。同時に、体験のイメージ写真や動画を収集し、商品造成後のプロモーション活動に備える。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	旅行者の観光満足度（奄美大島中長期観光戦略）				
56	奄美市滞在促進事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	60.0 %	68.0 %	%		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナ感染症による緊急事態宣言や島内感染者確認による事業の一時停止措置など、奄美を取り巻く観光状況は大変厳しい状況であったものの、旅行者の観光満足度については概ね目標を達成している。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		上記理由による事業の一時停止措置等があったため、事業を一部繰り越して実施する。コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。				
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度（大変満足のシェア）				
57	大和村奄美満喫ツアー助成事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	111 人	150 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により，島外からの利用者が減少となった。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携して行うことにより，誘客促進及び交流人口の拡大を図る。				
	大和村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
58	宇検村奄美満喫ツアー助成事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	343,741 人	359,780 人	260,256 人	72.3%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナの影響により受入客数の大幅減により、事業完了が困難となったため繰越事業となった。実績値についてもその影響が大きい。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、事業を展開していきたい。				
	宇検村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
59	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業	アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数の増加					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	150,081 人	160,000 人	93,660 人	58.5%	×	
	事業実施年度	評価	【R2年度】新型コロナウィルス感染拡大防止等により、入込客が目標の58．5%の、93，660人となった。					
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をしていく。					
	大和村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
60	龍の郷滞在型観光促進事業	アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値	343,741 人	359,780 人	260,256 人	72.3%	△	
	事業実施年度	評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響で人の往来に大幅な制限がかかり、目標達成はならなかった。また、事業の執行にも多くの影響があり、繰越せざるを得なかった。					
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針	令和3年度は引き続き地元5市町村と連携した「奄美満喫ツアー事業」を展開するほか、上記ツアーの利用を促進するために町PR動画コンテンツを制作して国内外に発信し、世界自然遺産登録を契機とした誘客増を図る。					
	龍郷町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
61	喜界町体験型・滞在型観光促進事業	アウトカム指標	喜界島への年間の入込客数の増加					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	60,418 人	65,000 人	人		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。					
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針	アプリ内の写真などの充実化を図り、アプリの利用促進に繋げる。 また、3DARを今年度導入することによりさらなる入込客数増加、体験型観光の促進に繋げていく。					
	喜界町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
62	徳之島町滞在型観光促進事業	アウトカム指標	①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
		値（①）	9 コース	10 コース	6 コース	60.0%	×	
		値（②）	10 人	20 人	2 人	10.0%	×	
		値（③）	0 人	100 人	28 人	28.0%	×	
	事業実施年度	評価	【R2年度】事業計画のうち、宿泊割引がコロナの影響で実施できずに、翌年に繰り越した。					
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針	繰り越した計画を実施したい。					
	徳之島町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況						
63	おいでよ！魅惑のアマパゴス事業	アウトカム指標	①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数					
		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定	
		年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値（①）	128,000 人	130,000 人	人		―	
		値（②）	件	1,000 件	件		―	
		値（③）	件	500 件	件		―	
	事業実施年度	評価	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数は大幅に減少したものの、公式YouTube視聴件数や公式Instagramフォロワー数は順調に伸びている。業務の一部が翌年度へ繰越となったため、感染状況を注視しながら事業推進に取り組む。					
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の影響によって繰越となった業務については感染状況を注視しながら早期執行に努める。動画制作後は若年層を中心に積極的なPR活動を展開するとともに、観光客に対してクーポン券の活用を促し、滞在型観光を推進する。					
	天城町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
64	長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	人		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 コロナ禍の中だったが、61%の達成率であった。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。				
	伊仙町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	沖永良部島への入込客数				
65	高付加価値オープンエアー型プログラム創出事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	90,617 人	100,000 人	人		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 コロナ禍に対応したオープンエアーな新規プログラムの作成，リアルタイム集計が可能な来訪者動向に関するモニタリングシステムの導入，デジタルマーケティングに基づいて制作・配信した動画の600万回超の再生など，着実な成果を得ている。一方，事業構想時は入り込み客数の増を目標値としていたが，新型コロナウイルスの影響が想定と比べ非常に深刻かつ広範であったため，現時点で達成は非常に困難であることが苦慮されており，むしろ令和元年度並に入り込み客数を短い期間で回復させられるかが重要であると考えられる。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		本事業で作り上げたコンテンツやシステムを活用し，アフターコロナの誘客を促進し，早期のの入込客数の回復を図る				
	和泊町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	来訪者の満足度				
66	チナ泊・チナあしびブラッシュアップ事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 年度	令和 5 年度	令和 年度		
			値	%	54.30 %	%		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナ禍での取り組みとなり、島民向けの体験プログラムや宿泊プログラムにおいては一定の実績を残せたが、島外からのモニターツアーは実施を見送り課題を残した。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		島民向けに実施した体験プログラムや宿泊プログラムにおいて収集したアンケート結果を基に、現状のプログラムの長所や短所、課題等を整理し、より良いサービスの提供につなげる必要がある。				
	知名町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	入込客数の合計が増加する（ビジョンの成果指標と整合） ※新型コロナウイルスの影響を加味し、現況値の6割程度の入込客数にとどめることを目指す。（4-5月の入込客数対前年比90%減）				
67	島の魅力発見事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	70,000 人	42,000 人	34,358 人	81.8%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 島内エコツアー体験の動画制作を行い、（一社）ヨロン島観光協会のHP等で動画配信を行った。入込客数に関しては、概ね達成出来た。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		今回の島内エコツアー体験動画制作や配信したデータを活かし、島内の観光業者等と連携をし、今後も体験メニューの造成を行うことで、入込客数の増加につなげたい。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①奄美群島への入込客数の内、観光客数 ②エコツアーのプロジェクト数				
68	奄美群島エコツーリズム魅力体験事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（①）	343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△
			値（②）	20 個	10 個	8 個	80.0%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】 認定エコツアーガイドと地域通訳案内士が連携したモニターツアーの実施や新たにエコツアーのPR動画を制作した				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		令和2年度事業終了				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①あまみシマ博覧会プログラム実施利用者数 ②ワーケーションの参加人数				
69	奄美群島滞在型観光促進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	2,803 人	3,500 人	人		―
			値（②）	0 個	100 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 ワーケーション参加企業数23社33人、あまみシマ博覧会助成参加人数183人となった。コロナ渦でのキャンセルが相次ぎ、想うような実績には至らなかった。				
	R 2 1号補正							
	事業主体	今後の取組方針		ワーケーション実証のための事業となることから、本年度にて終了。今後の可能性を見極めていきたい。				
	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①ジオガイドの育成数 ②講演会の受講者数 ③ジオツアーへの島外からの参加者数				
70	世界ジオパーク認定に向けた奄美群島連携事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	0 人	21 人	人		―
			値（②）	0 人	270 人	人		―
			値（③）	3 人	5 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】講演会はコロナ感染症の影響で実施できなかった。ジオツアーは島内の方のみで行った。4か所のジオサイトに看板設置を行った。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		ジオと喜界島の暮らしにあるものとの繋がりに興味を持ってもらうことが大切だと考えている。そのため「機運の醸成」を目的としたジオガイドの育成や広報誌やHPによるPR、児童向けのパンフレット作成などに取り組んでいきたい。				
	喜界町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①郷土教育学習の開催回数 ②喜界島への年間入込客数 ③喜界馬を活用したプログラム数 ④プログラム参加者数				
71	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度（①）	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	1 回	3 回	回		―
			年度（②）	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（②）	53,306 人	65,000 人	人		―
			年度（③④）	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（③）	0 件	1 件	件		―
			値（④）	0 人	15 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により郷土教育学習が実施出来ず、入込客数も大幅に減少した。喜界馬活用プログラムでは、島外旅行代理店ツアーの一部に取り入れて頂いた。島内外の個人観光・見学者は約800名程度であった。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		令和2年度は繁殖の関係で2頭目を導入することが出来なかったため令和3年も引き続き2頭目の帰郷を目指し、喜界馬を活用した観光振興に取り組むと共に、島に住む子ども達の郷土教育学習を今後も実施する。				
	喜界町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
72	北山文化圏ロード構築事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	14,288 人	15,710 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナウイルス感染症拡大の影響もあり，増加傾向にあった入込客数が減少したことで目標を下回った。また，予定していた沖縄向けのプロモーション活動もコロナウイルス感染症拡大のため，実施できなかった。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		コロナウイルス感染症の動向を注視しながら沖縄向けのプロモーション活動の実施を検討していく。沖縄県北部（特につながりのある今帰仁村）との連携・交流拡大はもとより，与論島を含めた広域的な取組も視野に入れながら取り組んでいく。				
	和泊町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数　②本部港からの入込客数				
73	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和　年度		
			値（①）	72,000 人	80,000 人	人		―
			値（②）	9,000 人	10,000 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動を当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止となった。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①スポーツ教室・講演会の参加者数　②スポーツ合宿受入延べ人数　③新規合宿団体受入数				
74	徳之島スポーツアイランド推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和　年度		
			値（①）	350 人	400 人	人		―
			値（②）	1,800 人	2,000 人	人		―
			値（③）	0 団体	1 団体	団体		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より合宿団体は減ったがPCR検査受診の上2団体受け入れることができた。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		合宿地としての定着化と新規団体の獲得を目指し、民間事業者による誘致活動の活発化や受入体制の構築を目指さなければならない。各種セミナー等への参加や意見交換等、連携の強化に努める。				
	徳之島町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①合宿受入延べ人数　②合宿受入団体数　③新規団体の受入数				
75	合宿日本一の”島”推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和　年度		
			値（①）	6,800 人	7,000 人	人		―
			値（②）	40 団体	42 団体	団体		―
			値（③）	3 団体	3 団体	団体		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により一部合宿のキャンセル等があったものの、前年実績と比較しても最小限の減少幅で済んだ。今後さらなる受入態勢の強化・環境整備を図る。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		誘致活動や広報・PRを積極的に行い合宿受入の増加を図るとともに新規種目の合宿誘致のために受入態勢の強化・環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め，スポーツを通じた産業振興を図る。				
	天城町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①スポーツ指導者の育成数　②スポーツ振興による新たな雇用創出数				
76	小さな島でもでっかいスポーツ環境創出プロジェクト事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（①）	0 人	2 人	2 人	100.0%	○
			値（②）	0 人	2 人	2 人	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナ禍の中、地元指導者の育成に重点を置き、オンラインなど用いた講習会を行った。また、新たな雇用が出来たことは大いに評価できる。				
	R 1 ～ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		独自で講習会や運動教室等を行えるように人材育成や雇用の創出を図る。また、収益を見込めるイベントの開催を目指し、持続的かつ有効的なイベントの開催を行う。				
	知名町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①ICT活用校数　②全国学力・学習状況調査における主要2科目の平均通過率の平均				
77	徳之島型モデルICT活用教育推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和　年度		
			値（①）	3 校	4 校	校		―
			値（②）	▲ 5.5 %	0 %	%		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】町内北部4小学校（母間、花徳、山、手々）に遠隔授業用CT機器の更新・導入、及び地区指定4校合同遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。				
	R 1 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		町内北部4小学校で遠隔事業の充実。				
	徳之島町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	インターネット塾受講人数（累計）				
78	ICTを活用した教育推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	13 人	35 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 前年度までは受験生である中学3年生のみを受講対象としていたが，基礎的学力の向上を図るため，R2年度より全学年を対象に開講したことにより，1,2年生の基礎学力の向上が図られるとともに勉強に向き合う「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは，今後の受講生本人の「人間力」の向上にも繋がることが期待出来る。				
	R 2 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		今後も中学生を対象に塾を開講し，基礎学力の向上を図るとともに勉強に向き合う「姿勢」を学ぶ機会を創出することで，「人間力」の向上の一助となることを期待し，事業に取り組む。				
	大和村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	フリーランス育成者のうち収入を得た人数				
79	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 年度		
			値	81 人	100 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 令和2年度のフリーランス支援において、8名の新たなフリーランスを創出した。施設整備により、目標達成が可能である。				
	R 2 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度に施設整備を終了し、施設運営手法を確立させることで、情報発信機能や支援体制が構築され、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成に取り組む。				
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	留学生人数				
80	奄美らしい離島留学推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	27 人	40 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は74人であり，昨年度に引き続き中間目標値を上回った。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	補助申請件数				
81	奄美群島加工品販路拡大実証事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	0 人	20 人	人		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】 事業の周知の遅れ等はあったものの令和2年度は21件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
	R 2 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、積極的な事業者を引き続き支援することで，販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①再生エネルギー由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②再生エネルギー由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加				
82	スマートアイランド推進事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（①）	0 kWh	5,000 kWh	1,255 kWh	25.1%	×
			値（②）	0 km	5,000 km	0 km	0.0%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】 モビリティに関しては今年度の事業概要に含まれておらず実証ができなかったため、次年度電動モビリティを導入した実証実験を行う。				
	R 2 ～ R 4							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度は風力発電によって得られた電力を原動力としたモビリティを導入し、観光客への貸し出しによる需要や走行距離等のデータ収集を図る。				
	知名町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 ②防災拠点施設（避難所等）要修復箇所数				
83	防災関連施設整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	58 %	100 %	%		―
			値（②）	114 か所	62 か所	か所		―
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度の①防災行政無線の整備率は100%，②防災拠点施設（避難所等）要修復箇所数は93か所であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
84	ネコ対策事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	1,539 件	1,300 件	件		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度のネコの不妊手術件数は977件であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	パトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げ				
85	奄美大島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	1,000 種	1,000 種	種		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度のパトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げは3,163種であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。				
	奄美大島自然保護協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数				
86	ヤギ被害防除対策事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	217 頭	205 頭	頭		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度のノヤギの捕獲頭数は255頭であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において， ①サンゴ礁被度がH28（またはH28以降初めて調査した年（以下，「H28※」と表記））と比較して5%以上，上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上，低下した箇所数 ③サンゴ礁被度がH28※比で新たに60%以上となる箇所数				
87	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値（①）	88 か所	106 か所以上	か所		ー
			値（②）	42 か所	27 か所以下	か所		ー
			値（③）	31 か所	54 か所以上	か所		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 令和2年度の実績はそれぞれ①51か所，②10か所，③20か所であった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。				
	市町村及び奄美群島サンゴ礁保全対策協議会							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
88	奄美群島水産物流通支援事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	580 トン	616 トン	トン		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は974トンであり，コロナ禍の影響により前年度よりは減少したものの中間目標値を上回った。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。				
	市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額				
89	水産業活力向上プロジェクト事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	10,170 百万円	10,329 百万円	百万円		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、業者打合せ等が難航したことにより、製氷機設備改修工事の実施設計等の事業計画を翌年度に繰り越すこととなった。				
	R 1 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		シラヒゲウニの放流と併せて，奄美大島での種苗生産実証試験を行い，地元での種苗生産，放流体制を確立するとともに，安定供給が可能な養殖について検討を進める。ヤコウガイについては資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。製氷機施設の改修工事については令和3年度内での完了を目指す。				
	奄美群島水産振興協議会，市町村							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加				
90	畜産緊急支援事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	5,422 頭	5,450 頭	頭		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 子牛販売価格が安定しており、農家の増頭意識が強く、目標頭数を大幅に超える増頭となった。				
	R 2 ～ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		冷凍コンテナを導入する事により、死亡獣畜の安定的な処理を行いさらなる増頭を目指す。				
	与論町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
91	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業		区分	基準	目標（中間）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	人		ー
	事業実施年度		評価	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に入込客数が減少となった。事業計画の再検討に伴い、全額を翌年度へ繰越。				
	R 2 ～ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		繰越後は早期に事業着手に努めるとともに、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産に登録されたことにより、観光需要が高まることを見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。				
	天城町							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間				
92	災害時医療体制強化事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値（①）	12 km	0.03 km	0.03 km	100.0%	○
			値（②）	20 分	1 分	1 分	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】 令和3年1月7日に完成し、災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間の削減を達成できた。				
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針		令和3年1月7日　災害等の緊急時に即時対応できるようになった。				
	奄美市							

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	ハザードマップが配布周知されている世帯数の割合				
93	ハザードマップ更新事業		区分	基準	目標（最終）	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	70 %	100 %	100 %	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】R3年度2月納品完了。また、年度内に奄美市全世帯への配布も併せて完了済である。本事業にて、奄美市内のハザードマップ更新事業は100%を達成できた。				
	R 1 繰越							
	事業主体	今後の取組方針		紙面でのハザードマップは10年毎に見直しを行い、WEB版でのマップにおいては毎年データの更新を行う予定である。（例：新しい土砂災害警戒区域の指定があれば、WEB版へ反映するなど。）				
	奄美市							